

## 令和6年度 科目試験評価票

科目コード	31540	科目名	言葉とこどもの文化(令和元年度入学生より)	問題番号	1
科目試験配点基準					
配点	評価規準	よく書けている(A)	おおよそ(B)	もう少し(C)	
30	保育者の役割について述べられている。	テキスト P13～14 の内容をもとに、適切かつ簡潔な説明がなされている。(21～30 点)	テキスト P13～14 の内容をもとに、説明がなされている。(11～20 点)	テキスト P13～14 の内容をもとに、説明がされていない。(0～10 点)	
20	「わらべうた」のタイトルが示されている。(1つ5点)	4つ示されている。(20点)	3つ示されている。(15点)	1～2つ示されている。(5～10点)	
25	「わらべうたの」特徴が述べられている。	例を示しながら、「わらべうた」の特徴が詳細に述べられている。(20～25点)	例を示しながら「わらべうた」の特徴が述べられている。(10～19点)	「わらべうた」の特徴が述べられている。(0～9点)	
25	「わらべうた」が言葉の育みにどのように役立つか述べられている。	「わらべうた」が言葉の育みにどのように役立つのか例を示し詳細に述べられている。(20～25点)	「わらべうた」が言葉の育みにどのように役立つのか、詳細に述べられている。(10～19点)	「わらべうた」が言葉の育みにどのように役立つか述べられている。(0～9点)	

## 令和6年度 科目試験評価票

科目コード	31540	科目名	言葉とこどもの文化(令和元年度入学生より)	問題番号	2
<b>科目試験配点基準</b>					
配点	評価規準	よく書けている(A)	おおよそ(B)	もう少し(C)	
15	言葉の育みに役立つ児童文化財が5つ上げられている。(1つ3点)	テキストにある児童文化財が5つ示されている。(15点)	テキストにある児童文化財が3~4つ示されている。(9~12点)	テキストにある児童文化財が1~2つ示されている。(3~6点)	
25	取り上げた児童文化財について簡潔に説明されている。(1つ1~5点)	取り上げた児童文化財について5つとも簡潔に説明されている。(21~25点)	取り上げた児童文化財について3~4つが簡潔に説明されている。(11~20点)	取り上げた児童文化財について1~2つが簡潔に説明されている。(0~10点)	
25	幼児用の絵本が5つ示されている。(1つ5点)	5つ示されている。(25点)	3~4つ示されている。(15~20点)	0~2つ示されている。(0~10点)	
35	絵本を読み聞かせする際の準備と方法が述べられている。	絵本を読み聞かせする際の準備と方法が例を示しながら詳細に述べられている。(25~35点)	絵本を読み聞かせする際の準備と方法が詳細に述べられている。(15~24点)	絵本を読み聞かせする際の準備と方法のどちらかが述べられている。(0~14点)	

## 令和6年度 科目試験評価票

科目コード	31540	科目名	言葉とこどもの文化(令和元年度入学生より)	問題番号	3
科目試験配点基準					
配点	評価規準	よく書けている(A)	おおよそ(B)	もう少し(C)	
15	絵本の種類(タイトルではない)があげられている。(1つ5点)	3つ示されている。(15点)	2つ示されている。(10点)	1つ示されている。(5点) 示されていない場合は(0点)	
30	示された絵本の特徴が述べられている。(1つ 0~10点)	3つについて簡潔に説明がなされている。(21~30点)	2つについて簡潔に説明がなされている。(11~20点)	1つについて簡潔に説明がなされている。(0~10点)	
20	絵本が言葉の育みにどのように役立つか示されている。	絵本とことばの育みの関係が詳細に述べられている。(15~20点)	絵本とことばの育みの関係が簡潔に述べられている。(10~14点)	絵本とことばの育みの関係の説明が不足している。(0~9点)	
15	「おはなし」の特徴が述べられている。	「おはなし」の特徴が過不足なく簡潔に述べられている。(10~15点)	「おはなし」の特徴が簡潔に述べられている。(5~9点)	「おはなし」の特徴が述べられているが不足している。(0~4点)	
20	「おはなし」が言葉の育みという観点から述べられている。	言葉の育みと関連させながら、過不足なく簡潔に述べられている。(13~20点)	言葉の育みと関連させながら、簡潔に述べられている。(7~12点)	言葉の育みと関連させながら、簡潔に述べられているが不足している。(0~6点)	